



基準内賃金の3・5ヶ月分の支払いを要求

本部申21号 2025年度夏季手当に関する申し入れを提出

中央本部は2月19日に、申21号・2025年度夏季手当に関する申し入れを経営側に提出しました。要求の満額獲得実現に向けて、全組合員で取組みを創り出ししましょう！

JR東日本が2月3日に発表した2025年3月期第3四半期決算は、連結・単体ともに4期連続の増収増益となりました。

前年9448億円増の1兆5524億円、四半期純利益が同406億円増の1798億円となるなど、すべての利益で増益となりました。鉄道運輸収入は新幹線、在来線ともに定期および定期外のいずれも計画値を超え、対前年734億円増の1兆3344億円となりました。

年未年始のご利用状況は対前年109%、キーンパスの効果などにより年度末に向けて多くのお客さまのご利用が期待され、通期目標に対する上振れが見通せる状況となっています。

足元の業績が好調である陰には、インバウンド需要やお客さまのご利用が増加するなか、鉄道事業を軸として持続的成長を実現するために「安全・安定輸送」に傾注し、日々奮闘してきた全社員の努力があります。

自然災害が激甚化するなかで輸送障害を最小限にとどめるために昼夜を問わず復旧作業に尽力し、人々の生活を支えるインフラとして鉄道の使命を守り続けてきたのは私たちJR労働者です。

しかし会社の持続的成長とは相反して、社員とそ

の家族の生活は苦しさを増すばかりです。

2021年度に行われ

新潟地本で新たな仲間が加入!!



歓迎!

新たな仲間と共にならぼう!



月という低額回答が行われました。東日本ユニオンが指摘した抑え込み手法そのものであり、出し渋りだと言わざるを得ません。会社施策を担い会社の発展に寄与し、日々安全安定輸送と質の高いサービスの提供に尽力する社員の努力に報いる責務が経営側にはあります。

中央本部は2月19日に、申21号・2025年度夏季手当に関する申し入れを提出しました。

■本部申21号 申入れ項目

- 2025年度の夏季手当は社員一律による「基準内賃金の3・5ヶ月分」とすること。
- 2025年度の夏季手当は2025年6月30日(月)までに支払うこと。

JR東日本第3四半期決算 4期連続の増収・増益実現

JR東日本は2月3日に、2024年度の第3四半期決算を発表しました。これによると、連結・単体ともに4期連続の増収増益となりました。

連結の営業収益は対前年6・2%増の2兆1260億円、本業の儲けを示す営業利益が同18・1%増の3525億円となったのははじめ、全ての利益が増益でした。

セグメント別では、「運輸事業」が鉄道運輸収入の増加などにより増収増益となったのははじめ、「流通・サービス事業」「不動産・ホテル事業」で増収増益となりました。

単体の営業収益は対前年6・5%増の1兆5524億円、営業利益が同22・4%増の2812億となったのははじめ、全ての利益が増益でした。

団体交渉の日程決定!

申4号再三繰り返される「労働時間改ざんによる賃金未払い」の是正を求める申し入れ

2025年3月5日(水) 10時00分より

団体交渉に向けて職場からたたかいを作りだそう!



信義誠実な姿勢での団体交渉を求める

新潟地本は昨年の12月5日に、申4号「再三繰り返される『労働時間改ざんによる賃金未払い』の是正を求める申し入れ」の団体交渉を行いました。このことは、東日本ユニオンが会社と締結している「労使間の取扱いに関する協約」の第14条「団体交渉は信義誠実対等の原則に従い秩序を保ち平和に行う」に反していると言わざるを得ません。

団体交渉の場において二度とこのような回答を発生させないために新潟地本は2月13日、申9号「労使間の取扱いに関する協約の遵守を求める申し入れ」を提出しました。

■申9号 申入れ項目

- 労使間の取扱いに関する協約(令和6年10月1日締結)を遵守すること。

JR東日本第3四半期決算 (単体)

| | | |
|---------|----------|-------------|
| ●営業収益 | 15,524億円 | (対前年106.5%) |
| ●営業利益 | 2,812億円 | (対前年122.4%) |
| ●経常利益 | 2,475億円 | (対前年130.3%) |
| ●四半期純利益 | 1,798億円 | (対前年129.2%) |